

2011年10月31日

YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト タイヤモールドの製造販売会社で第一期植樹祭を実施

横浜ゴム（株）は10月15日（土）、タイヤモールドの製造販売会社であるヨコハマモールド（株）で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの第一期植樹祭を開催した。国内のグループ会社では初めての植樹祭となる。

ヨコハマモールドは今年1月から横浜ゴムグループの植樹活動全般を指導している宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の指導を受け、植樹場所の整備や土づくりなどの準備を進めてきた。植樹祭は同社が地域とのふれあいを目的に毎年開催している「YOKOMO 祭」の一イベントとして実施。当日は伊澤俊夫社長、従業員とその家族に加え、県議会議員や市議会議員の方々、地域住民の皆様など総勢190名が参加し、38種、2,850本を植樹した。

ヨコハマモールドは乗用車用およびトラック・バス用タイヤのモールド製造販売会社として2009年7月に設立した。所在地は茨城県小美玉市、資本金は1億円（横浜ゴム100%出資）、従業員数は65人（2011年9月末現在）。

「YOKOHAMA 千年の杜」は国内外の全生産拠点に杜を創生するプロジェクトで2007年にスタートした。創業100周年の2017年までに合計50万本の苗木を植樹する予定で、今回、ヨコハマモールドの植樹により2011年10月までの植樹本数は合計21万本を超えている。



植樹後の記念撮影



小雨の中で植樹する参加者

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：木下
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570